

最初にお読みください クイックマニュアル

SEIWA SINC BTE19X Bluetooth ワイヤレスイヤホンマイクシリーズ

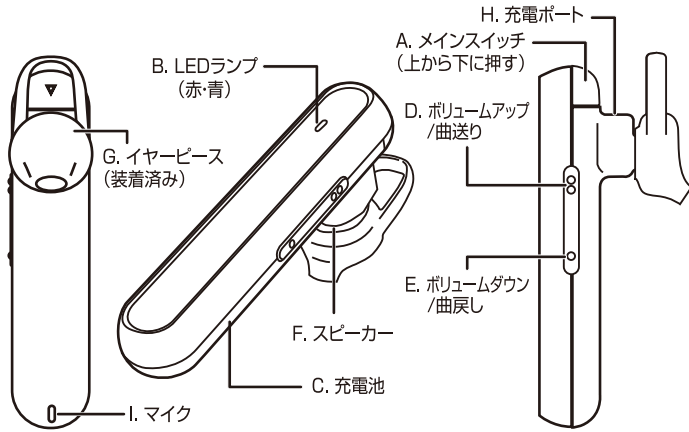
取扱説明書A

220520

はじめに

※本書では本製品と接続するBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/パソコン/タブレットなどを総じて「接続端末」と記載する場合があります。

Bluetoothイヤホンの名称とはたらき



| 名称 | 機能説明 |
|---------------------|----------------------------|
| A. メインスイッチ | 電源の入切、応答/終話、再生一時停止などで使用します |
| B. LEDランプ | 青色と赤色のLEDを内蔵。イヤホンの状態を表示します |
| C. 充電電池 (内蔵) | リチウムポリマー電池 (充電電池の交換はできません) |
| D. ボリュームアップ(VOL+)キー | 音量を大きくしたり、曲送りなどに使います |
| E. ボリュームダウン(VOL-)キー | 音量を小さくしたり、曲戻しなどに使います |
| F. スピーカー | 通話やビープ音、音声案内の為にスピーカーです |
| G. イヤーピース | 取り外して交換可能です |
| H. 充電ポート | microUSB。付属のUSBケーブルで充電します |
| I. マイク | 通話用マイクです |

お使いになる前に

お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっていたくこと

① 本製品を充電する

イヤホンを一度満充電してからお使いください。

② お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンをペアリングする

Bluetoothイヤホンは最初にお手持ちのスマートフォンやパソコンなどの接続端末に本製品を登録(ペアリング)してから接続することで、ご使用が可能となります。

③ 基本操作の確認

本製品の基本的な操作方法を確認してください。

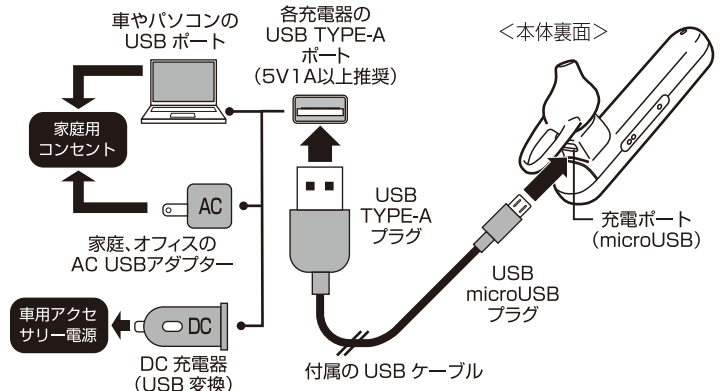
※詳しい説明は、取扱説明書Bをご確認ください。

① 本製品を充電する

⚠ 充電をはじめの前に必ずお読みください

- 充電には、必ず付属品(USBケーブル)を使用してください。
- 充電器のUSB TYPE-Aポートの出力は、DC5V1A以上の能力が必要です。
- お車で充電する際は、車のエンジンを掛けてから最後にDC充電器を挿し込んでください。
- 充電中はイヤホンのLEDが赤点灯します。約6時間で満充電になると、LEDが消灯に変化します。
- 本製品にUSBケーブルをつないだままでも耳につけてのご使用はお止めください。
- 充電電池の劣化を防ぐため、なるべく連続8時間以上の充電は避けてください。充電が完了しましたら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- 付属品以外のUSBケーブルを使ったり、お客様のご使用のUSB充電器が原因での使用上の事故、破損、不具合に関しては当社は一切の責任を負えません。

- 1 出力がDC5V1A以上のUSB TYPE-Aの出力ポート付きパソコンやAC充電器、DC充電器を別途ご用意ください。車で充電する際は先にエンジンを始動してください。
- 2 AC充電器はコンセントに挿し、DC充電器はアクセサリ電源に挿して通電状態にしてから、USBケーブルのTYPE-Aプラグ(大きい方)を挿し込みます(上下の向きにご注意ください)。
- 3 イヤホン本体の充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを挿し込みます。
- 4 充電が開始されるとイヤホンのLEDが赤く点灯します。ゼロから満充電までは最大約6時間かかり、充電完了になると消灯になります。



- プラグの抜き挿しの際は、必ずプラグの根元をしっかりと持ち、水平にゆっくり行ってください。
- イヤホンを長期間使用していなかったり、充電電池が完全放電した状態では、LEDランプが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)

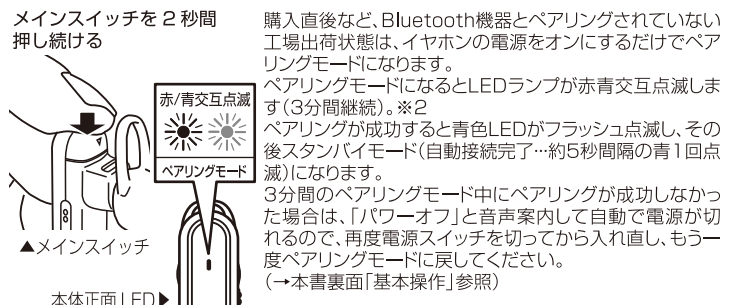
② ペアリング(接続端末との登録)の方法

イヤホンをはじめでご使用になる場合、接続する携帯電話やスマートフォンとペアリングを行ってください。

- ※ペアリングは接続する携帯電話ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず接続する携帯電話の取扱説明書(Bluetoothの項目など)を参照してください。
- ※基本的なペアリング手順は→裏面の「ペアリングの手順」を参照してください。

ご購入直後など(ペアリング履歴なし) → (電源オフ状態から) メインスイッチを2秒間長押し

ペアリングモードにする(ペアリング履歴あり) → (電源オン状態から) 電源を一度切ってから入れ直す※1



- ※1. 一度ペアリングした後、別のBluetooth端末を登録したい場合は、電源を入れ直す前に最初のBluetooth端末のBluetooth機能を切ってから行ってください。
- ※2. 電池残量がない時は赤・青点滅せず、7秒毎の赤点滅になります。

- ◆ 付近に本製品が複数ある場合、スマートフォン側の[使用できる(ペアリングできる)機器]リスト表示に、[BTE19X]が複数表示される場合があります。また、周辺に他のBluetooth機器やワイヤレス接続のパソコン、自動ドア、電子レンジなどが多い環境では検索されにくい場合があるので、表示されない時や選択しても接続しない時は場所を変えるなどしてペアリング(機器登録)を繰り返し何度かお試しください。
- ◆ 接続機種によっては、ペアリングモードの後にBluetooth機能を入れ直したり、手動で機器探索を再度行なわないと、BTE19Xの機種名がリストアップされない場合があります。
- ◆ 一度ペアリングを完了すれば、イヤホンの電源をオフにしてもペアリング履歴がお互いに残り、電源をオフにした後、再度電源をオンにすると自動的に再接続できますが、接続機器側でBluetoothを切ったり、接続解除をした場合は、自動で再接続しなかったり、ペアリングの履歴が外れる場合があります。
- ◆ 本製品は最大8台までの携帯電話機とのペアリング履歴を記憶できます(8台の携帯電話とイヤホンと同時に接続できるわけではありません)。また、通話機能で同時接続できるマルチポイント接続は2台までです。

ペアリングの手順（一般的なスマートフォンの場合）

| | 手順① | 手順② | 手順③ | 手順④ | 手順⑤ | 手順⑥ | |
|------|----------|---------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------|
| 携帯電話 | 電源オン状態 | 設定からBluetooth選択 BluetoothをONにする | Bluetooth周辺機器検索 | 検索結果表示 使用可能機器リスト BTE19X | BTE 19X 機種番号を指でタップ 機器認証 | 接続完了表示 | ペアリング完了 |
| イヤホン | 電源オフ状態から | 音声「パワーオン」 青LEDフラッシュ点滅 | 音声「ペアリング」 赤・青交互点滅（3分間継続） | | | 音声「コネクテッド」 5秒に1回青LED点滅 | |

- イヤホン（電源オフ状態）と接続端末（Bluetooth対応機種/電源オン状態）を手元（推奨10cm以上離して30cmぐらいの距離）に置いて準備します。
- スマートフォンの場合、[メニュー]や[アプリケーション一覧]から[設定]を開き、[Bluetooth]の項目を選択し、Bluetooth機能を「ON」にします。イヤホンの電源をオンにしてください。購入後直後は電源オンで、自動的にLEDランプが赤/青交互点滅を開始してペアリングモードになります。
- イヤホンのペアリングモード（LEDランプが赤/青交互点滅）は3分間継続します。（以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください。）接続端末側で周辺機器（本機）の検索（サーチ）をします。（例：「メニュー」→「設定」→「Bluetooth」→「BluetoothをON」→「周辺デバイス検索（サーチ/更新）」）
- 携帯電話の画面にリスト（Android…[使用可能な機器リスト]など、iPhone…[その他のデバイス]など）が表示され、検索が終わるまで待つと「BTE19X」がリストアップされます。
- 表示された「BTE19X」をタップ（選択）します。 ※接続端末によってはPINキー入力を求められる場合がありますので、その場合パスキー「0000（ゼロを4つ）」を入力します。（プロフィール登録は「ハンズフリー」で行ってください。） ※パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力を求められる機種があります。この場合は予めお客様が携帯電話機に登録した暗証番号を入力してください。
- 数秒待つと認証が成功するとイヤホンからは「コネクテッド」と音声案内が聞こえます。同時にイヤホンのLEDランプが青フラッシュ点滅した後、5秒ごとに青LED1回点滅する表示になりスタンバイモードになります。携帯電話の画面には「接続」「ペアリング成功」「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。 ※iPhoneやスマートフォン以外の携帯電話機の場合は、ペアリング登録の後で別途手動で接続を行う場合があります。その場合はHFP（ハンズフリー接続）で接続してください。 ※失敗した場合は、電源を入れ直し、もう一度ペアリングモードにして登録をお試しください。

※音楽再生/TV音声出力をする場合はアドバンス・オーディオ・ディストリビューション・プロファイル（A2DP）にも接続していることを確認してください。
 ※マルチポイント接続する場合は、→「取扱説明書B」裏面参照してください。

③ 基本操作の説明

電源オン（電源を入れる） → （電源オフ状態から）メインスイッチを2秒間長押し～LED青フラッシュ点滅まで

電源切の状態からメインスイッチを2秒押し続けると電源が入ります。青LEDがフラッシュ点滅して電源が入ります。その後スタンバイモードになり、既に以前ペアリング済みの携帯電話が10m以内であって、予めBluetooth機能を起動している状態であれば、相互で自動接続を試行します。

音声案内「パワーオン」

スタンバイモード（自動接続完了） → [LED] 接続時青フラッシュ点滅後、5秒ごと青1回点滅を継続

音声案内「コネクテッド」

ご使用になれます

探索モード ※ 接続を試行中（未接続） → [LED] 赤・青交互点滅（3分間継続）

まだご使用になれません

※1

※2

※3

※9

※4

電源オフ（電源を切る） → （電源オン状態から）メインスイッチを4秒間長押し～LED赤1秒だけ点灯

電源入の状態からメインスイッチを4秒押し続けると、LEDが1秒だけ赤色点灯して電源オフになります。 ※長押し1秒でピッと音が鳴りますが、そのままあと3秒押し続けてください。2秒で指を離してしまうと、Siriなどの音声案内が起動し、電源が入ったままになります。

音声案内「パワーオフ」

※5

着信 → [LED] 青色点滅

着信中はスピーカーから着信音が聞こえます（端末の設定により番号を読み上げます）。 ※着信音を変更することはできません。

着信応答（電話を受ける）/終話（電話を切る） → メインスイッチを短く1回押し

【着信応答】 スタンバイモード中に着信があるとスピーカーから着信音が聞こえます。メインスイッチを短く1回押しで電話を受けることができます。1秒以上長く押し続けると着信拒否になってしまうのでご注意ください。

【通話から終話】 イヤホンを使っての通話中に終話したい場合は、着信時と同じようにメインスイッチを短く1回押しします。長く押しと終話になりません。

※6

※7

音量調節 → ボリュームアップ（VOL+）キー/ボリュームダウン（VOL-）キーの操作

ボリュームアップ（VOL+）キーを長押しすると受話音量が上がります。ボリュームダウン（VOL-）キーを長押しすると受話音量が下がります。どちらも押し続けている間は音量が変化します。 ※音量は接続している携帯電話機のBluetooth音量設定と連動します。 ※AVRCPでの音楽再生時のみに、ボリュームアップ（VOL+）キーを押すとピーブ音で最大音量をお知らせします。

※8

左※印に対する注意点

- ※1: 一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード（自動接続完了）になります。（自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります。）
- ※2: ※1で接続しない場合は携帯電話側で手動で接続してください。
- ※3: 携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください（※ペアリングではありません）。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE19X」を削除し、イヤホンの電源を切って充電した後、再度ペアリングをお試しください。
- ※4: イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話の電源が切れていたり、BluetoothがOFFになっていると、このモードになります。
- ※5: イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。（最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能）
- ※6: イヤホン装着（使用）した状態でも、携帯電話を通常操作（通話ボタンを押すなど）して電話を受けることもできますが、携帯電話本体での通話となりますので、その後、携帯電話の手動による操作でイヤホンに切り替えてください。
- ※7: イヤホン装着（使用）した状態でも、携帯電話を通常操作（終話ボタンを押すなど）して電話を切ることもできます。
- ※8: 耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

取扱説明書Bも
必ずお読みください